

表面処理技術から未来を創造する

第57期・2017年3月期

決算説明会資料

株式会社 JCU

東証1部 4975

2017年5月16日(火)





- **2017年3月期決算概況
2018年3月期業績予想**

- 決算・業績予想トピックス

- 参考資料（会社概要）

2017年3月期業績概況

当社決算の概況

【参考】 会計期間

- ・JCU(単体) → 4月-翌3月
- ・海外子会社 → 1月-12月

《電子部品分野向け》

海外において、前半にハイエンドスマートフォンの生産調整の影響があったものの通年で中国系スマートフォン向けの需要が底堅く堅調に推移したことにより、当社顧客である基板メーカーの稼動が寄与し、薬品販売は高水準で推移。現地通貨建では増収基調であったものの、円高の影響を受け売上高は前年比横ばいとなった。

《自動車分野向け》

国内は、自動車生産に緩やかな回復の兆しが見えたことで、薬品販売も緩やかな回復基調で推移。海外は、中国において2015年末から続く小型車減税政策等による底堅い需要が寄与し、薬品販売は堅調に推移。しかしながら、円高の影響を受け売上高は前年比横ばいとなった。

2017年3月期業績概況

【連結】

(単位:百万円)

決算期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期			
	実績	実績	期首予想	修正予想	実績	対前期増減率
売上高	19,803	19,818	20,300	20,500	20,760	4.8 %
営業利益	4,606	4,906	4,620	5,400	5,500	12.1 %
経常利益	4,834	4,926	4,620	5,400	5,502	11.7 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,204	3,410	3,210	3,900	4,124	20.9 %
1株当たり 当期純利益	227円15銭	241円76銭	227円52銭	279円02銭	295円10銭	—

貸借対照表 要約

(百万円)	2016年3月期	2017年3月期
流動資産	15,872	19,007
現金及び預金	7,543	9,913
受取手形及び売掛金	5,814	6,264
たな卸資産	1,560	1,663
固定資産	6,335	7,087
有形固定資産	4,088	4,237
投資その他の資産	2,156	2,781
資産合計	22,208	26,095
流動負債	4,626	5,553
支払手形及び買掛金(電子記録債務含む)	1,981	2,833
短期借入金(一年内長期含む)	583	471
固定負債	1,877	2,084
長期借入金	541	645
負債合計	6,503	7,638
純資産合計	15,704	18,457
負債・純資産合計	22,208	26,095

※ 一部の勘定科目について省略しております。

2018年3月期業績予想

(単位:百万円)

決算期	2017年3月期	2018年3月期 (予想)	前期に 対する増減率
売上高	20,760	21,000	1.2 %
営業利益	5,500	5,900	7.3 %
経常利益	5,502	5,900	7.2 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,124	4,300	4.2 %
1株当たり 当期純利益	295円10銭	309円16銭	—

2017年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

配当予想

		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
1株当たり配当金	中間	30円 (内:記念配当 5円)	30円	 35円 (5円増配)
	期末	30円 (内:記念配当 5円)	35円	35円
	年間	60円 (内:記念配当 10円)	65円	 70円 (5円増配)

(注) 2017年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合を持って株式分割を行っております。
2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり配当金を算定しております。

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。



- 2017年3月期決算概況
2018年3月期業績予想

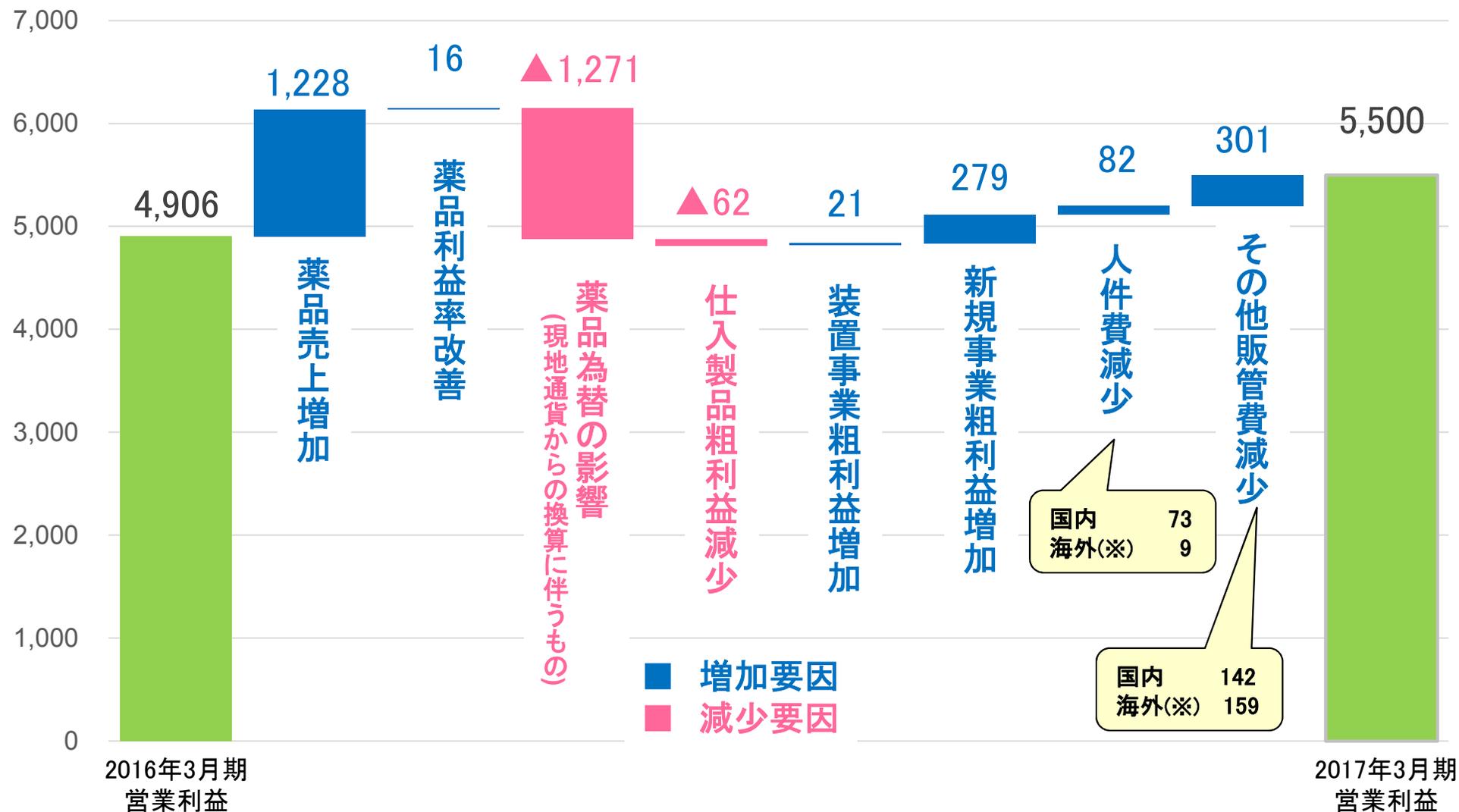
- **決算・業績予想トピックス**

- 参考資料（会社概要）

2017年3月期 連結営業利益 増減内容

(単位:百万円)

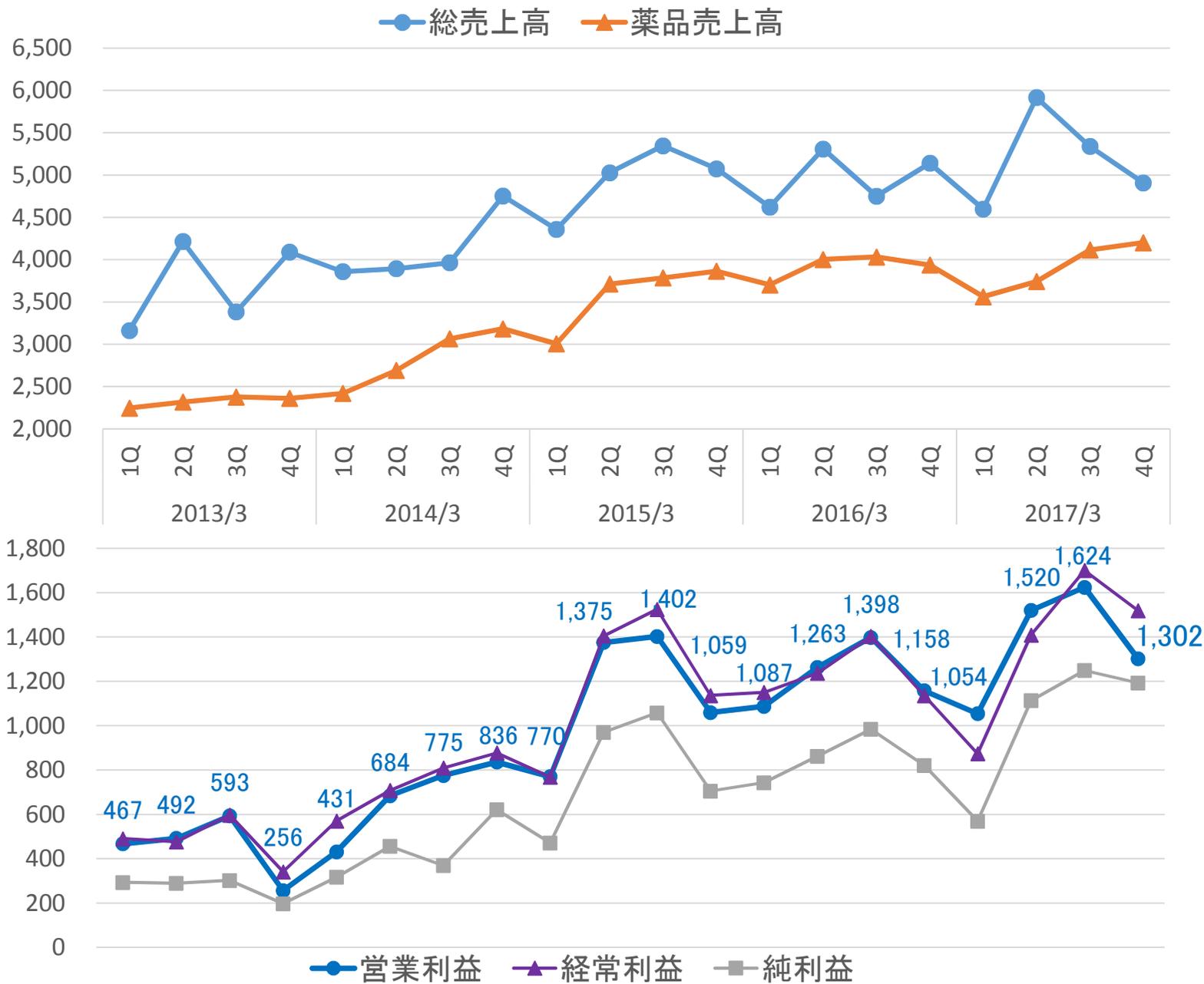
(前期比)
+ 594



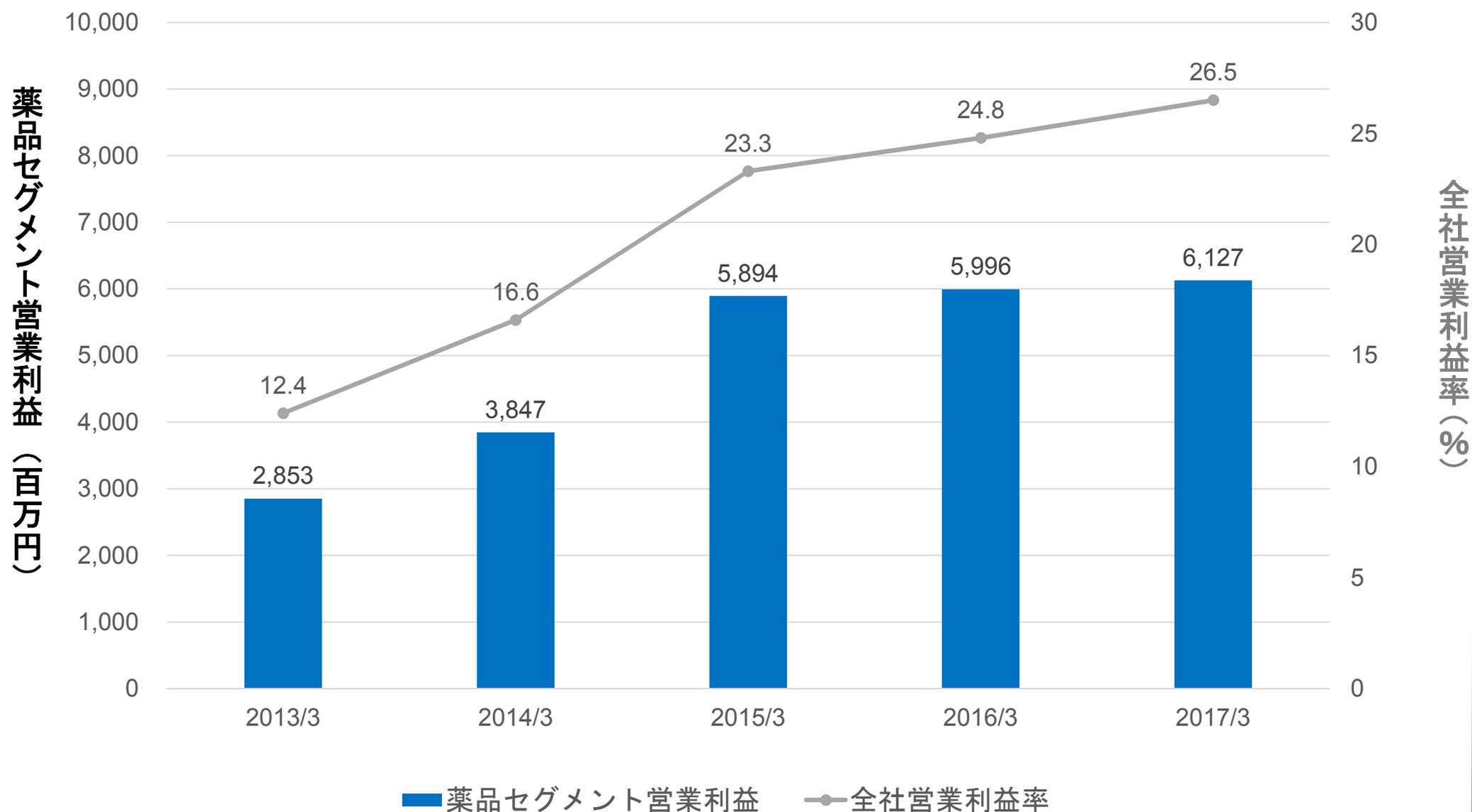
※ 海外の「人件費」および「その他販管費」は、現地通貨ベースでは増加。
円換算に伴う為替の影響で減少。

四半期別 連結業績の推移

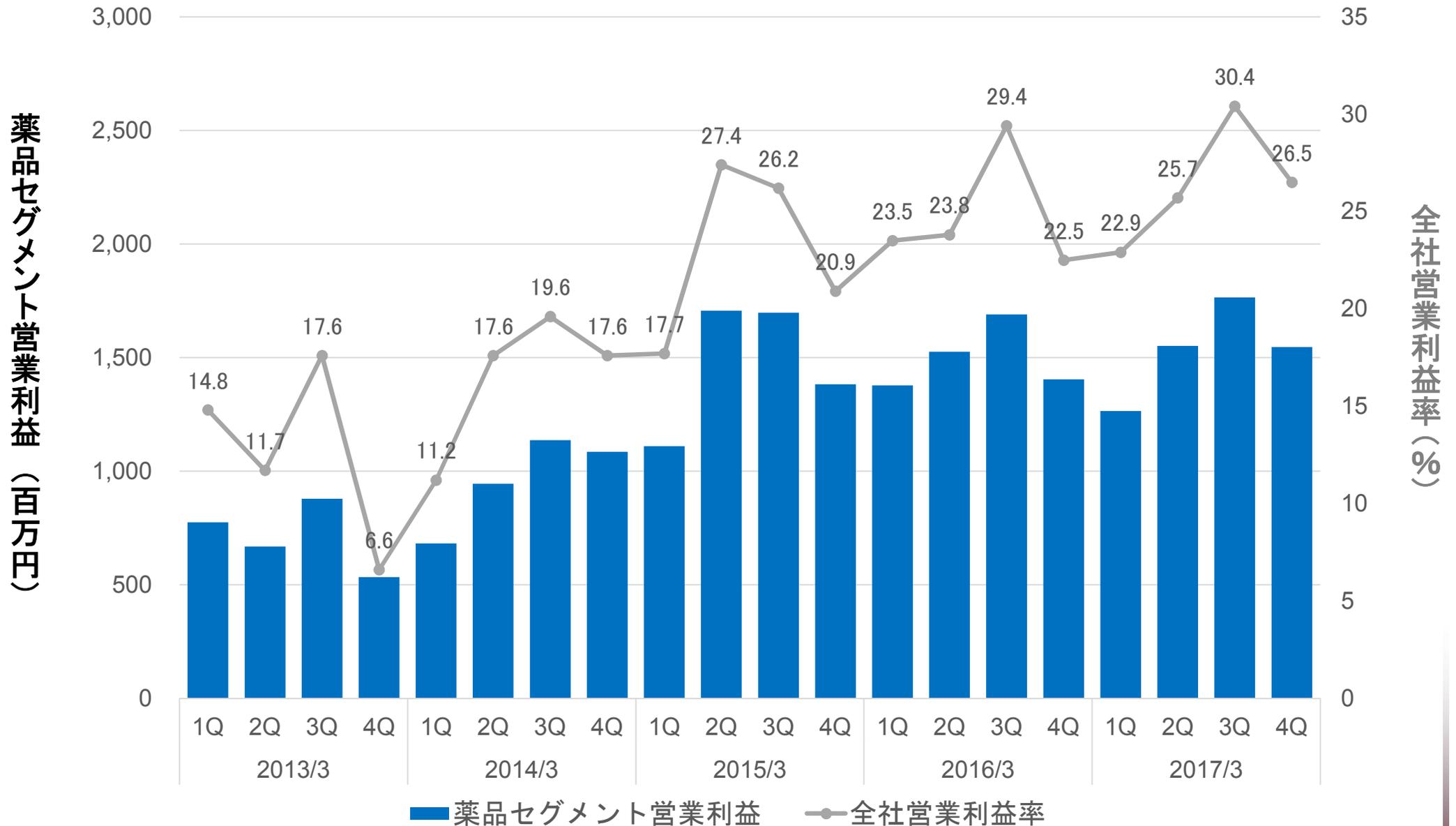
(単位:百万円)



年度別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移



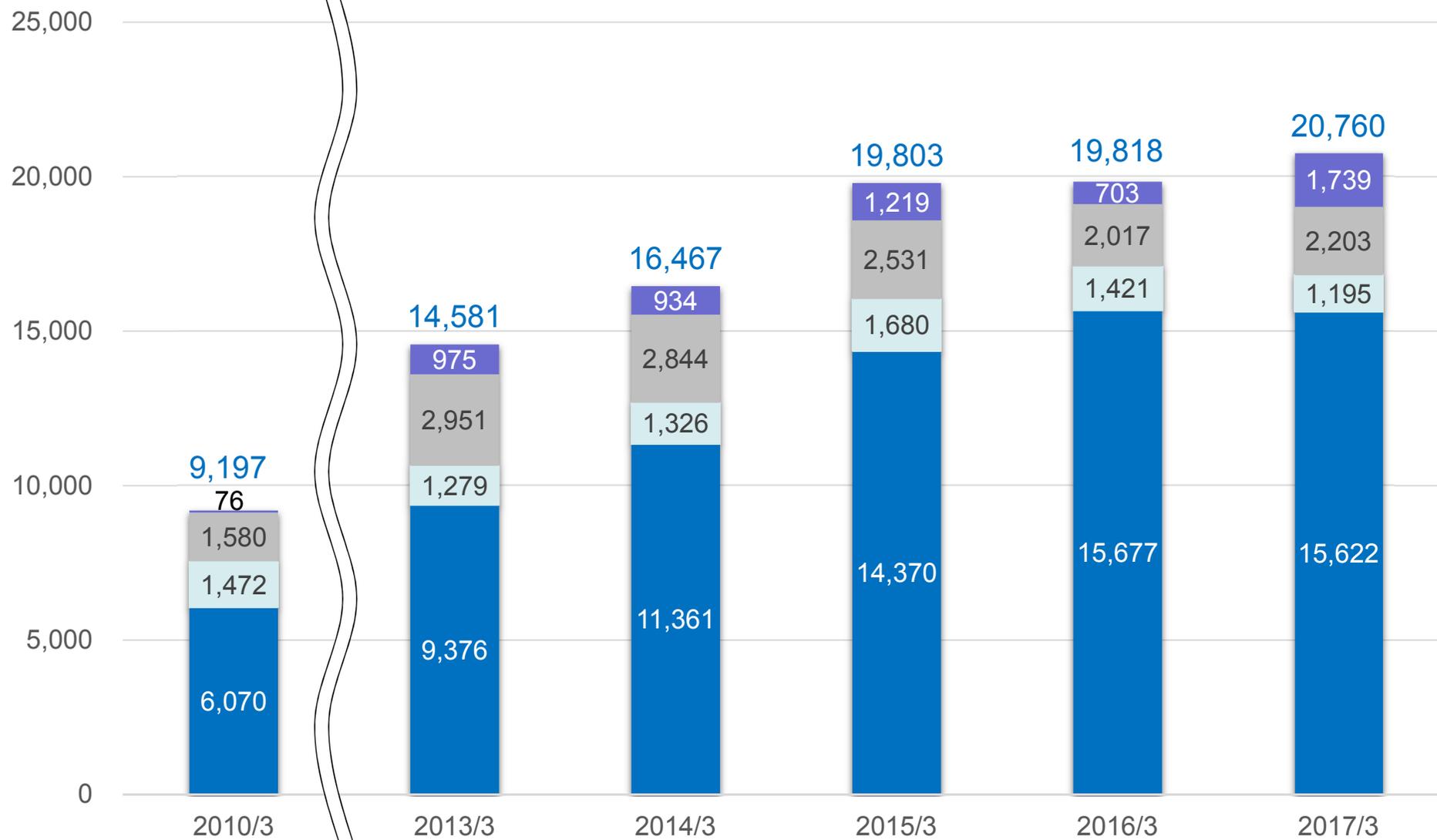
四半期別 薬品セグメント営業利益・全社営業利益率推移



※2017年3月期1Qより、組織変更に伴い「新規事業」に含まれていた貴金属めっき薬品及びコーティング材について「薬品事業」へ含めて表示しております。

年度別 連結売上高の推移

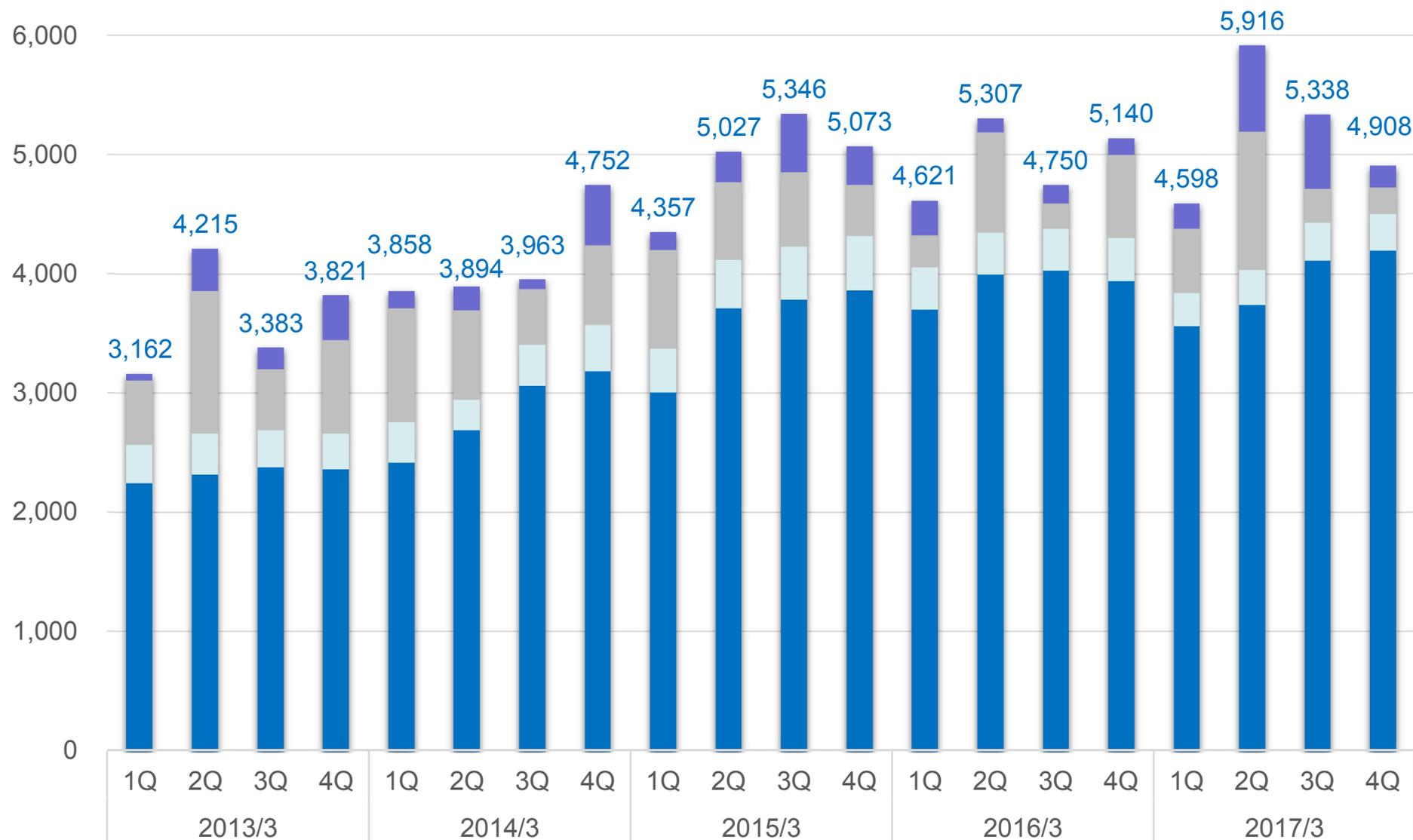
(単位:百万円)



■ 薬品事業(薬品) ■ 薬品事業(仕入製品) ■ 装置事業 ■ 新規事業

四半期別 連結売上高の推移

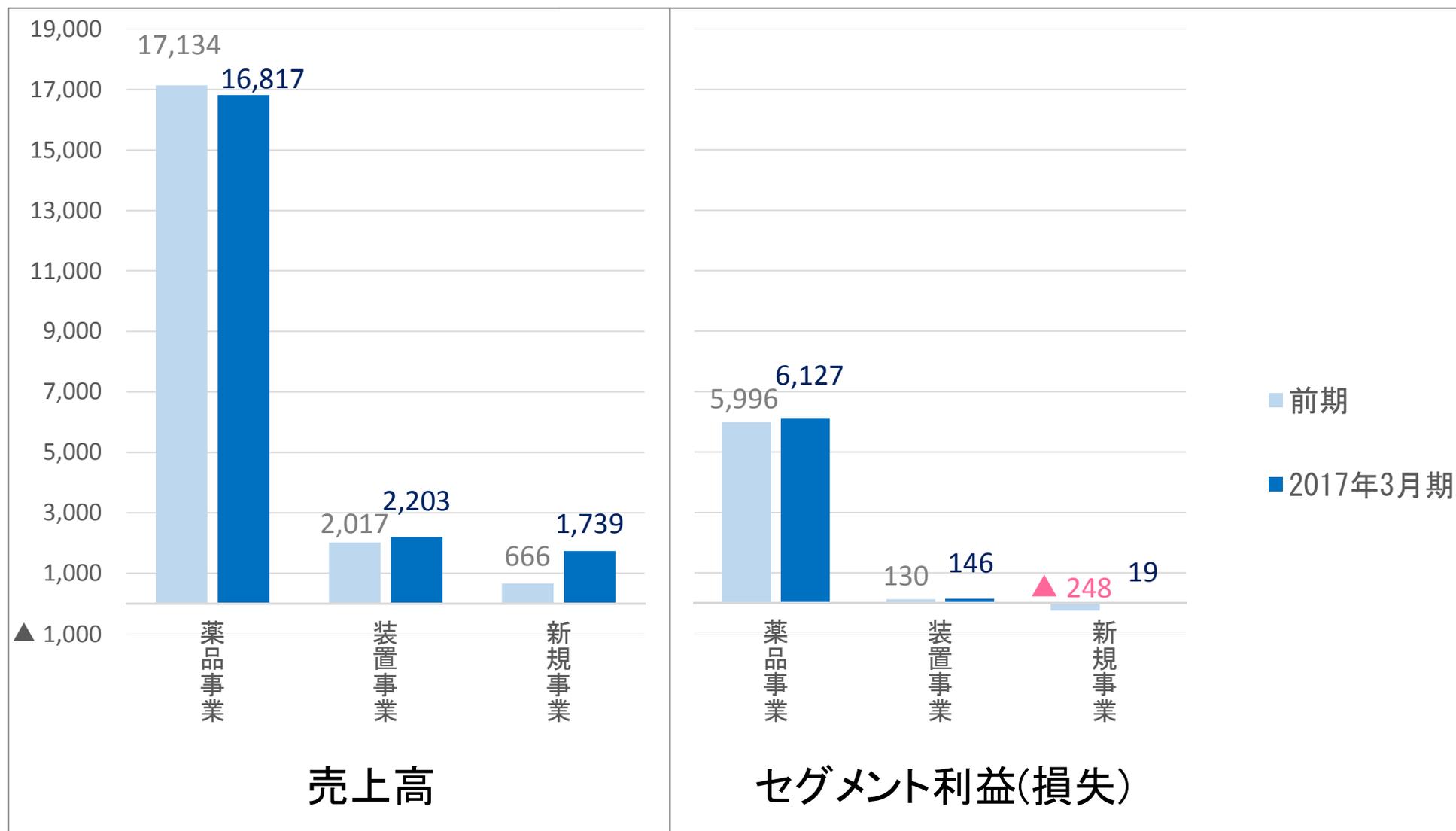
(単位:百万円)



■ 薬品事業(薬品) ■ 薬品事業(仕入製品) ■ 装置事業 ■ 新規事業

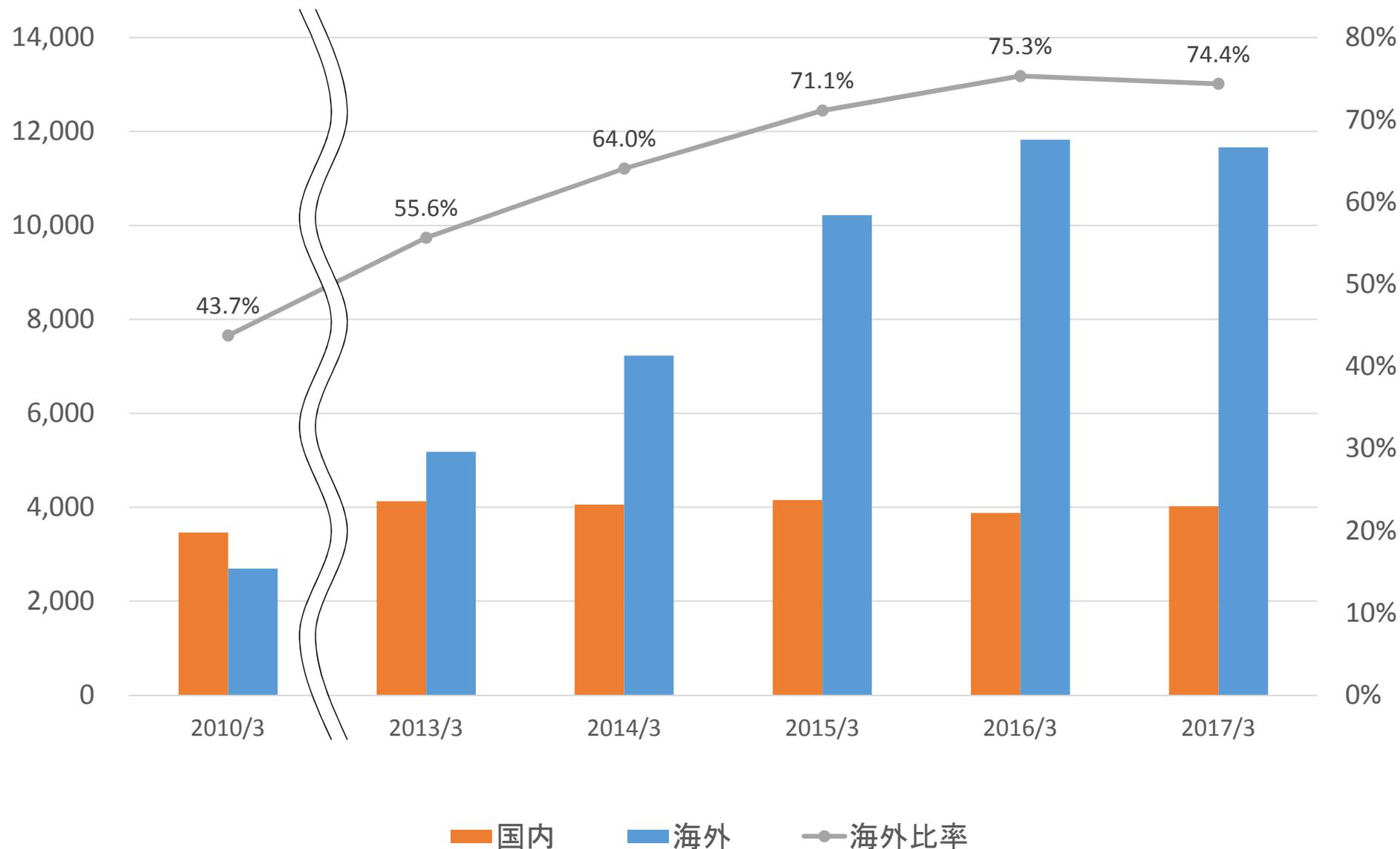
2017年3月期 連結セグメント業績

(単位:百万円)



年度別 国内外薬品売上高推移

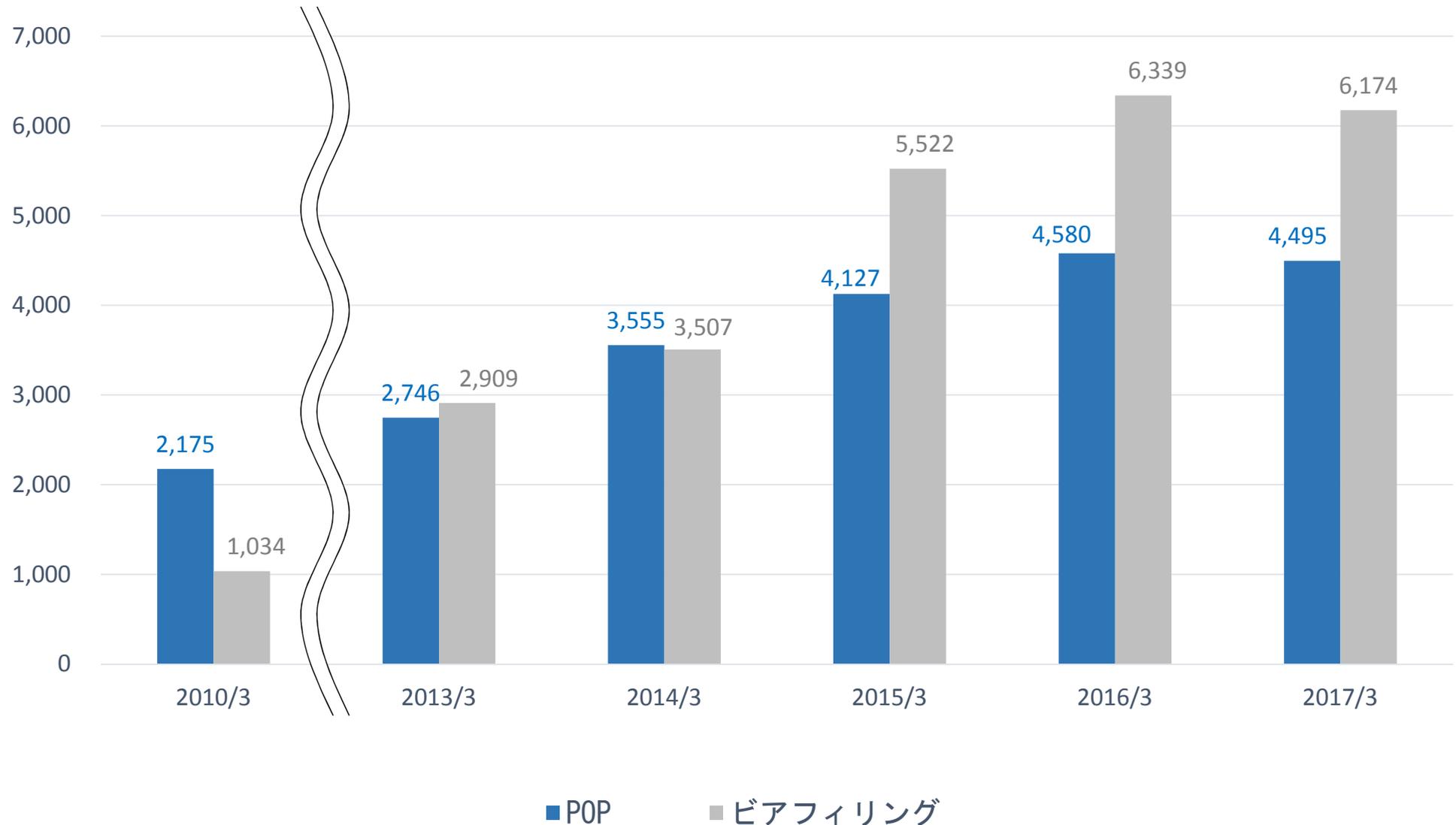
(単位:百万円)



年度別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

(単位:百万円)

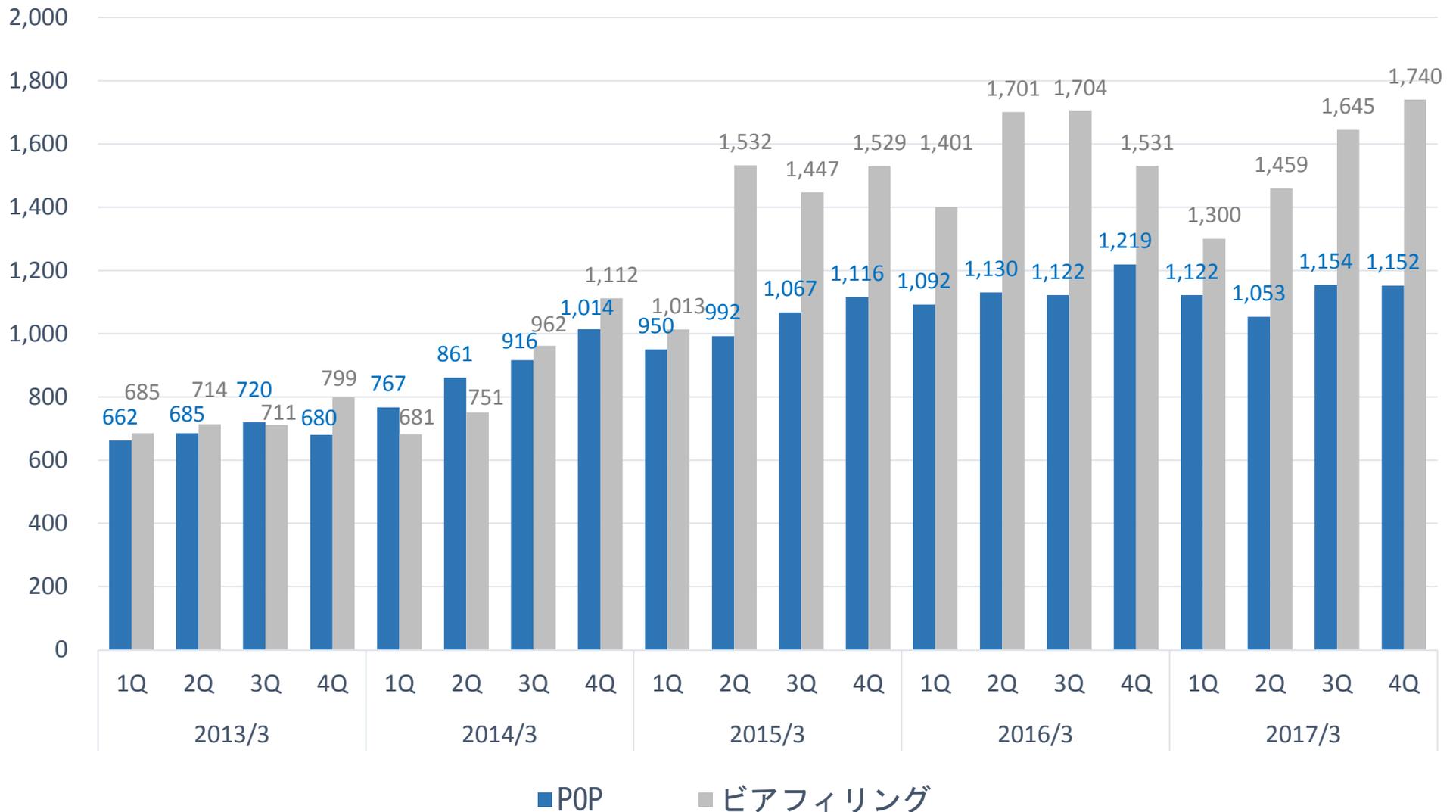
POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
ビアフィリング … プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

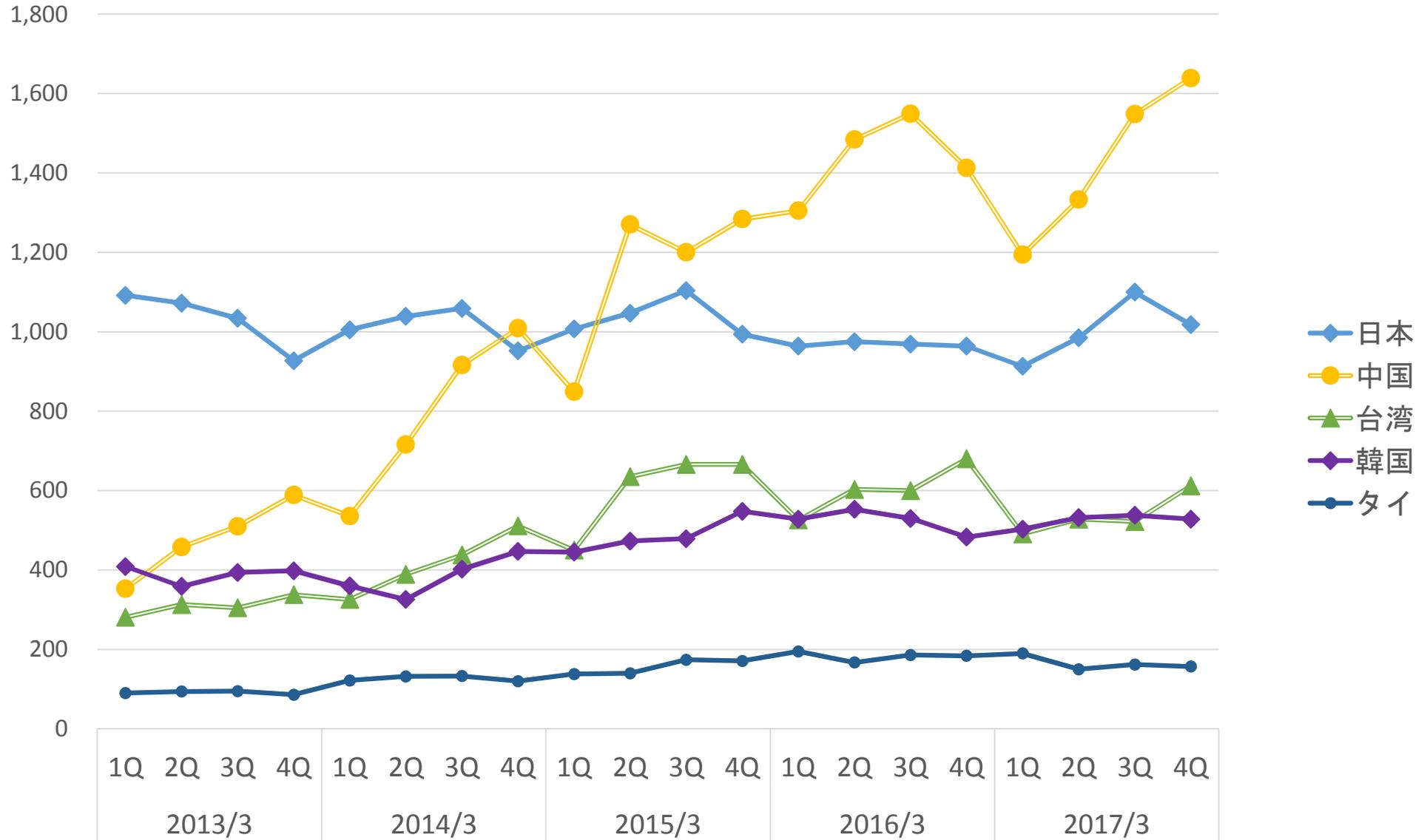
(単位:百万円)

POP (Plating on Plastics) …… プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング …… プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

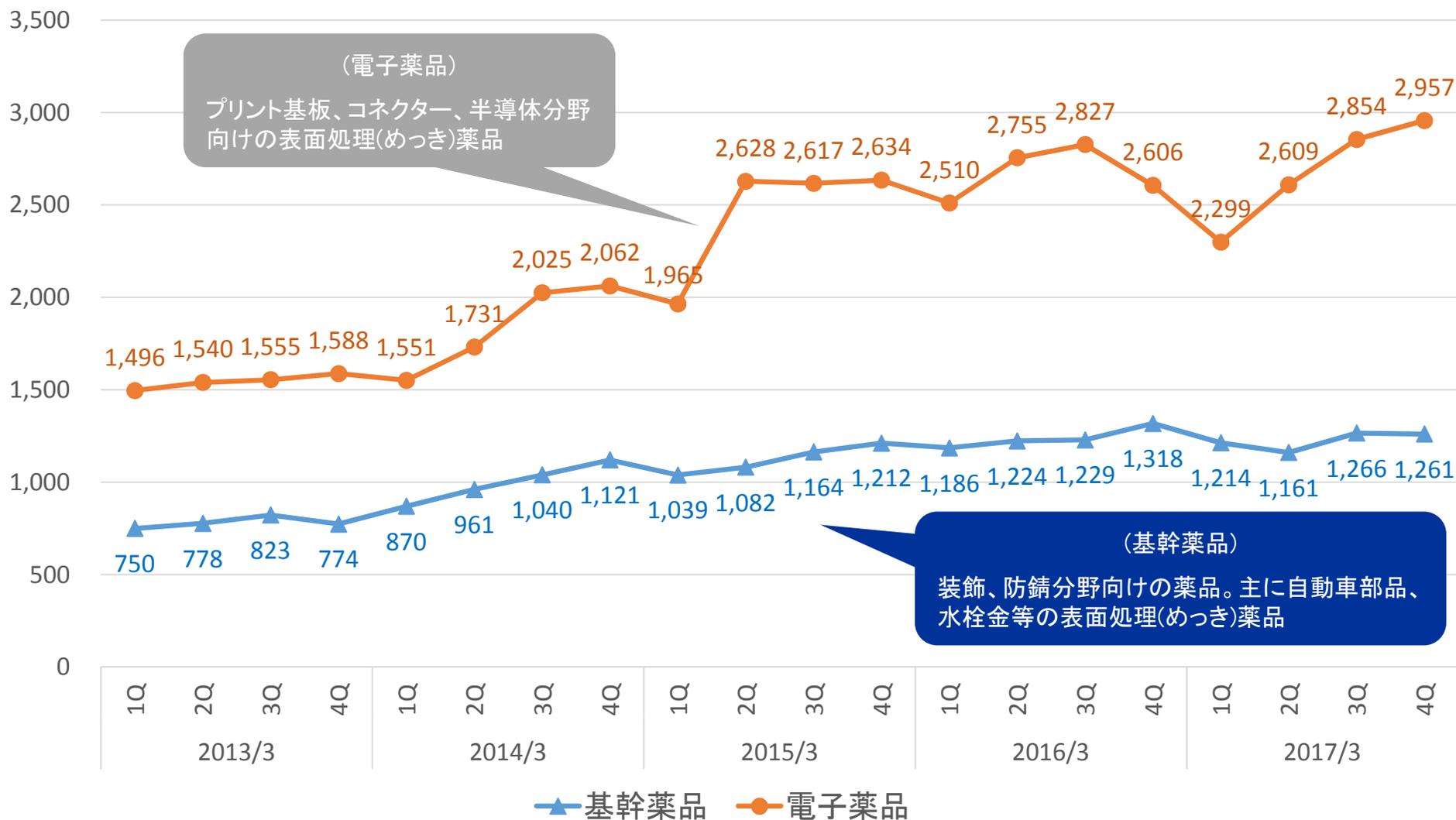
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

連結

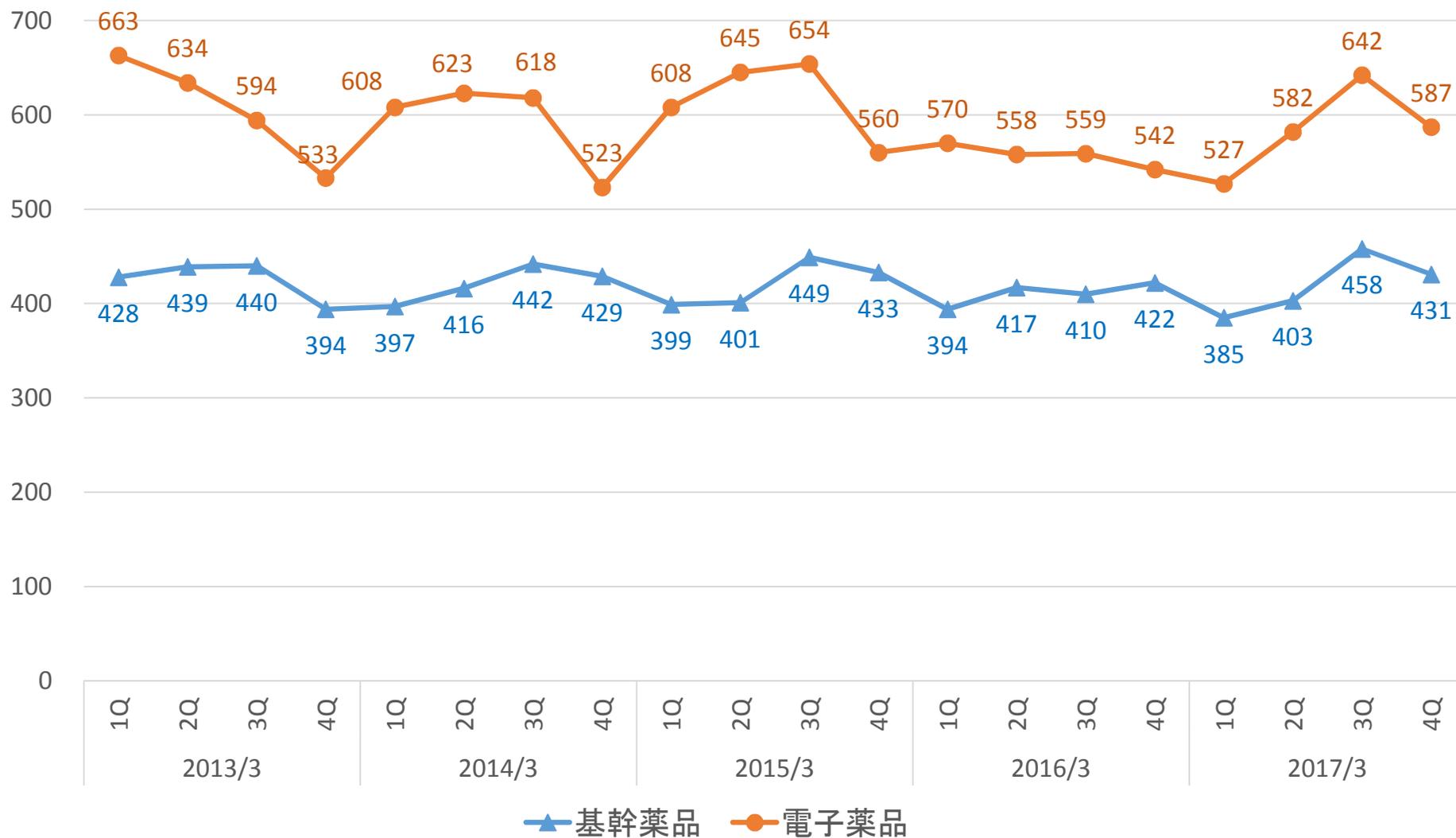
(単位:百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

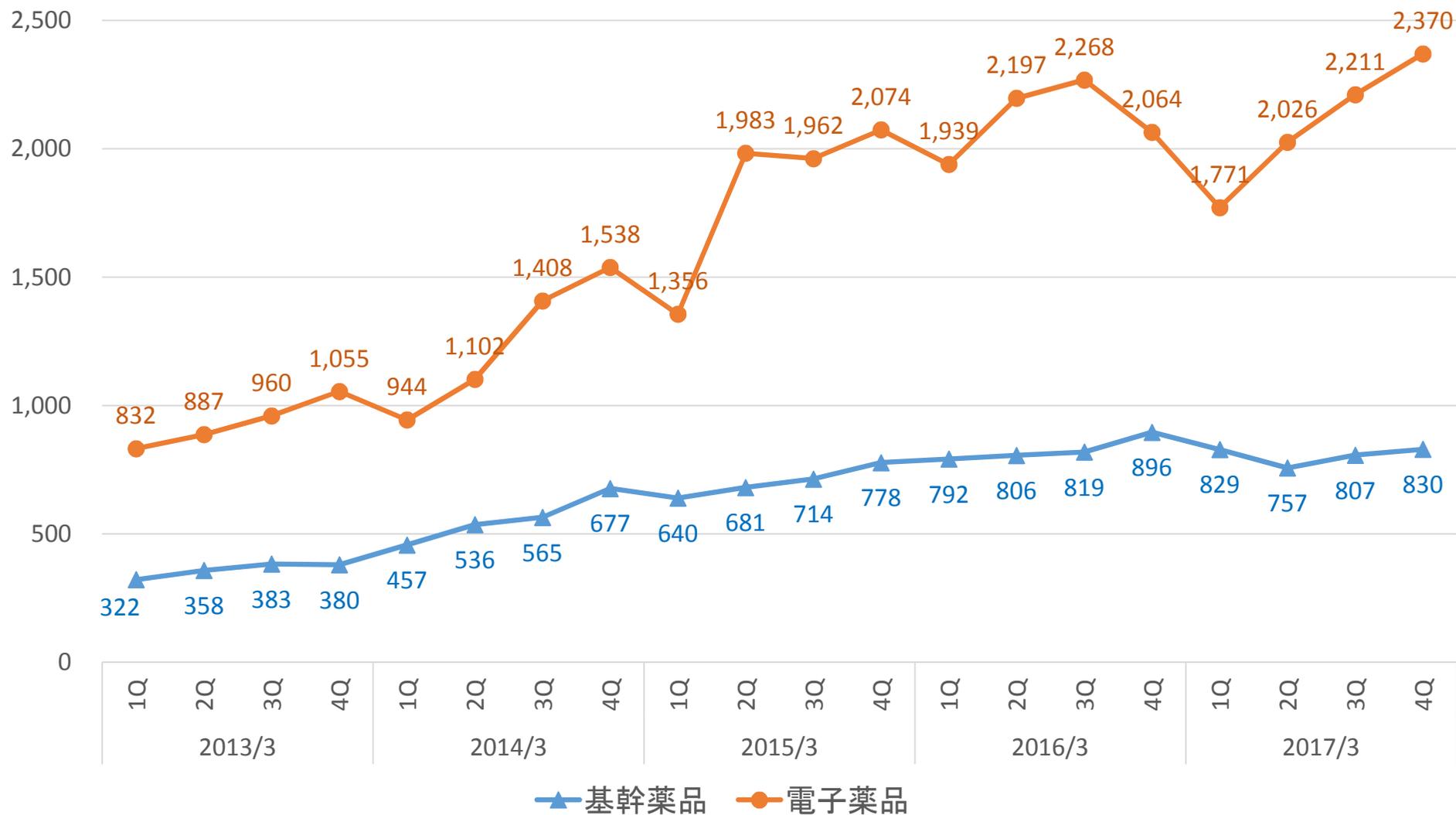
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

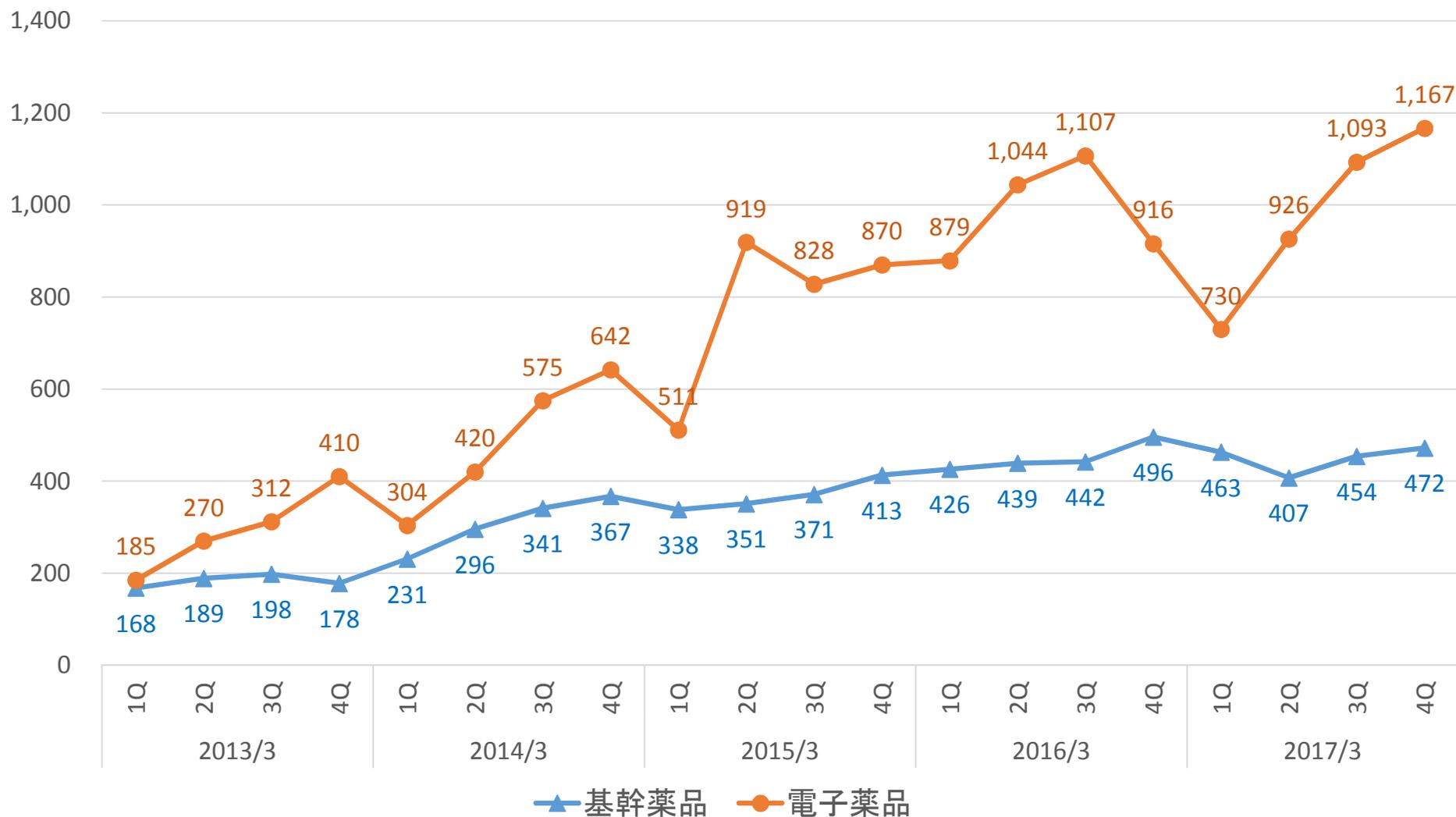
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

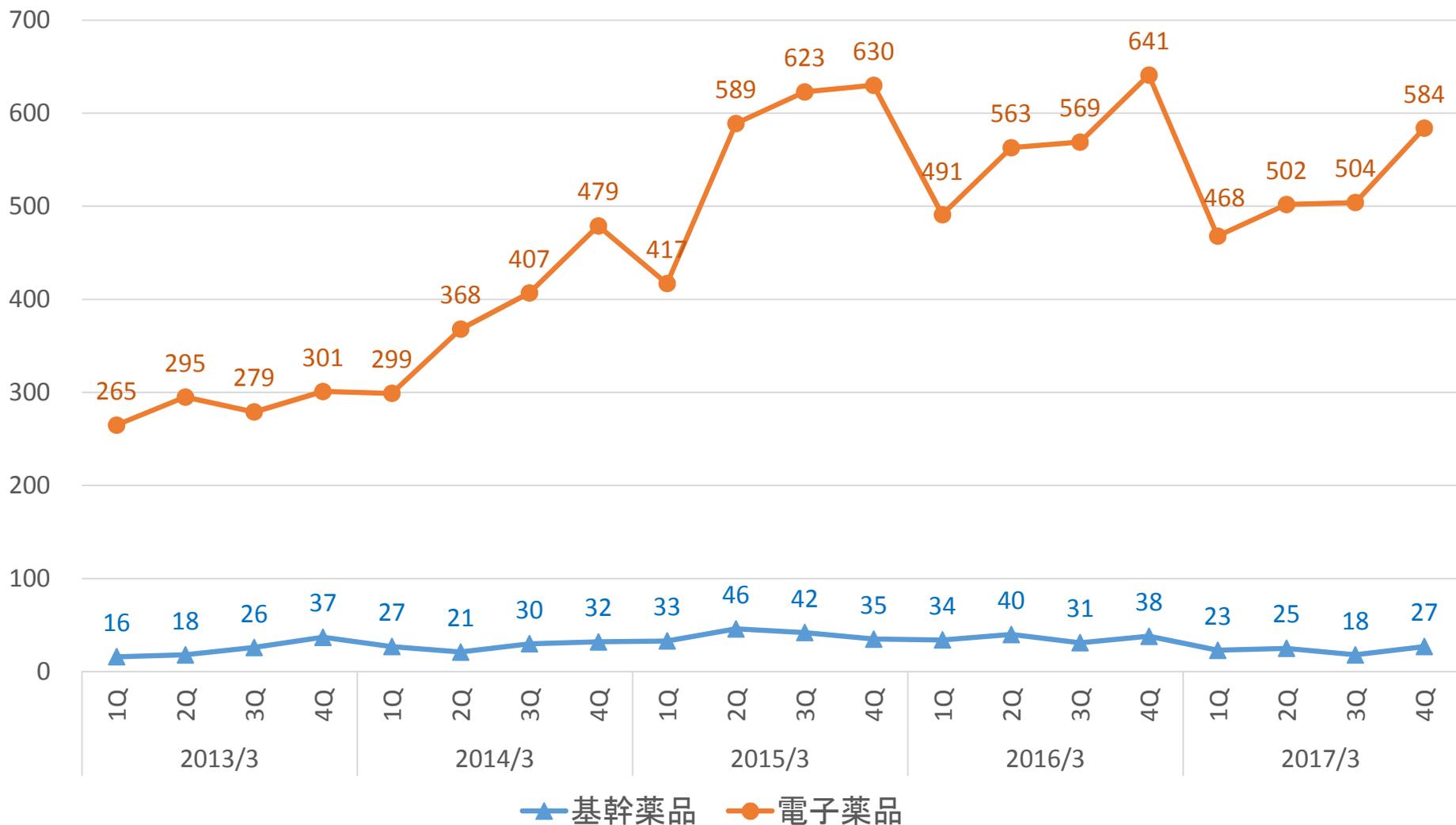
中国 (台湾直販分含む)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

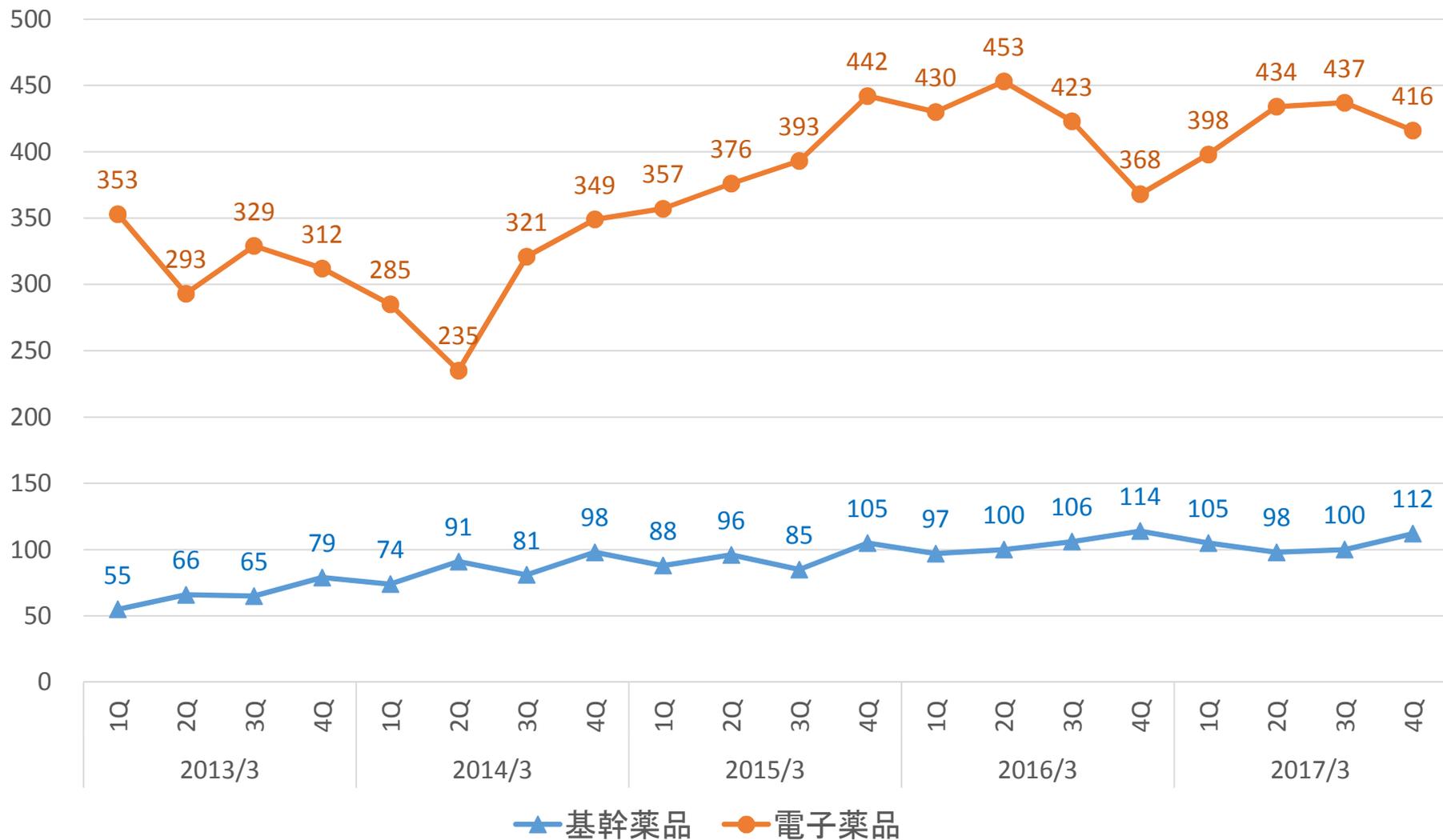
台湾 (中国直販分除く)



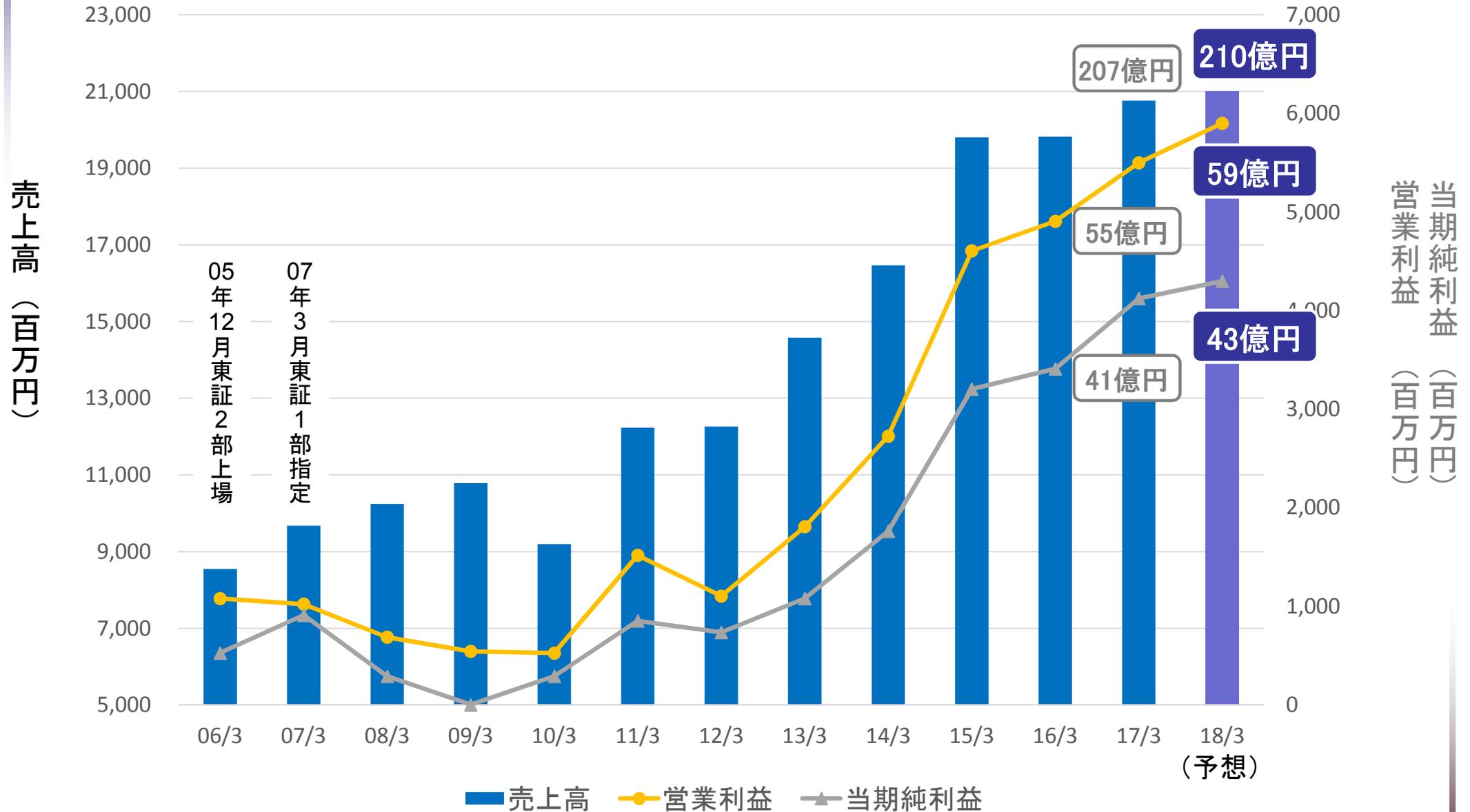
四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位:百万円)

韓国

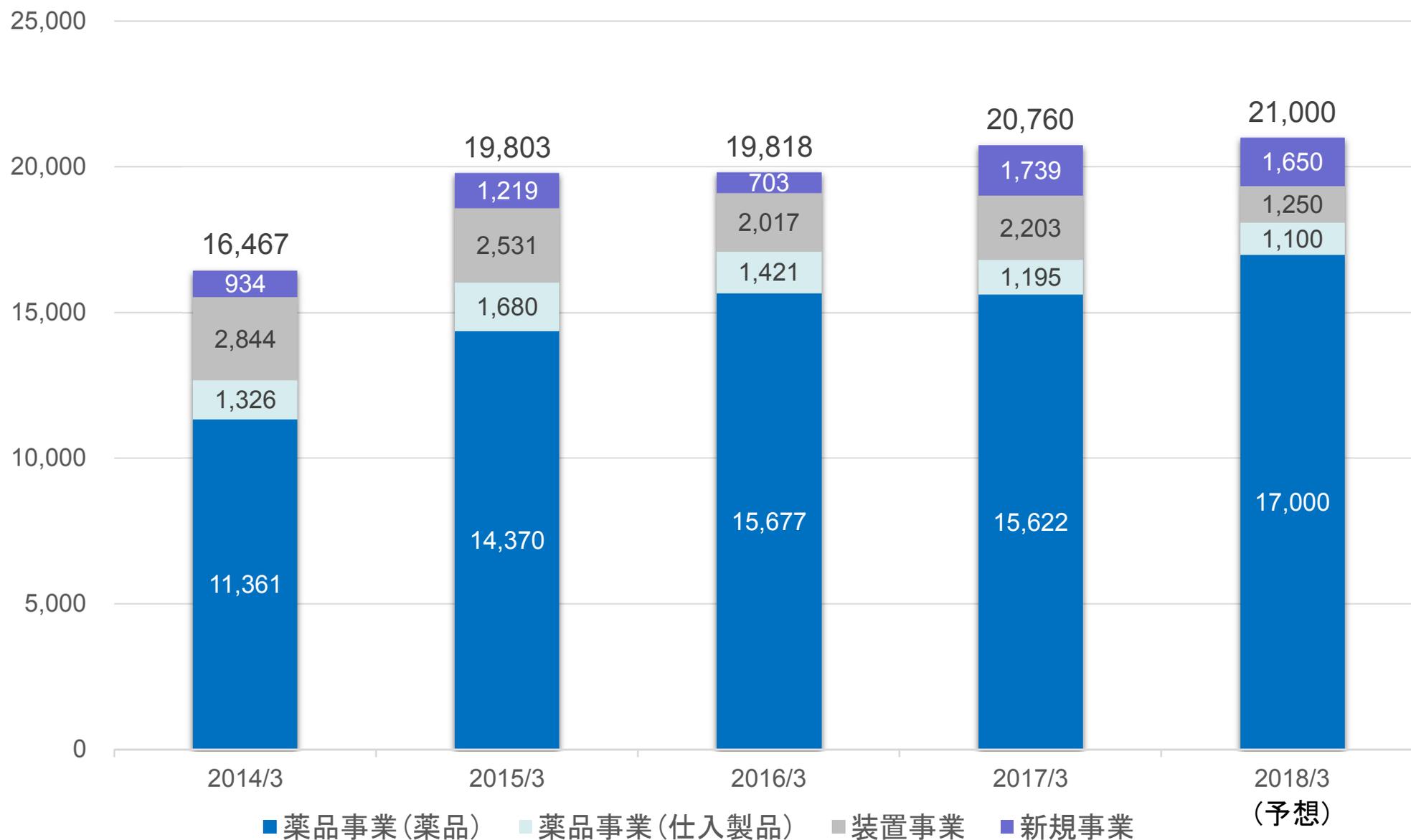


上場からの業績推移（予想）



年度別製品構成別売上高推移（予想）

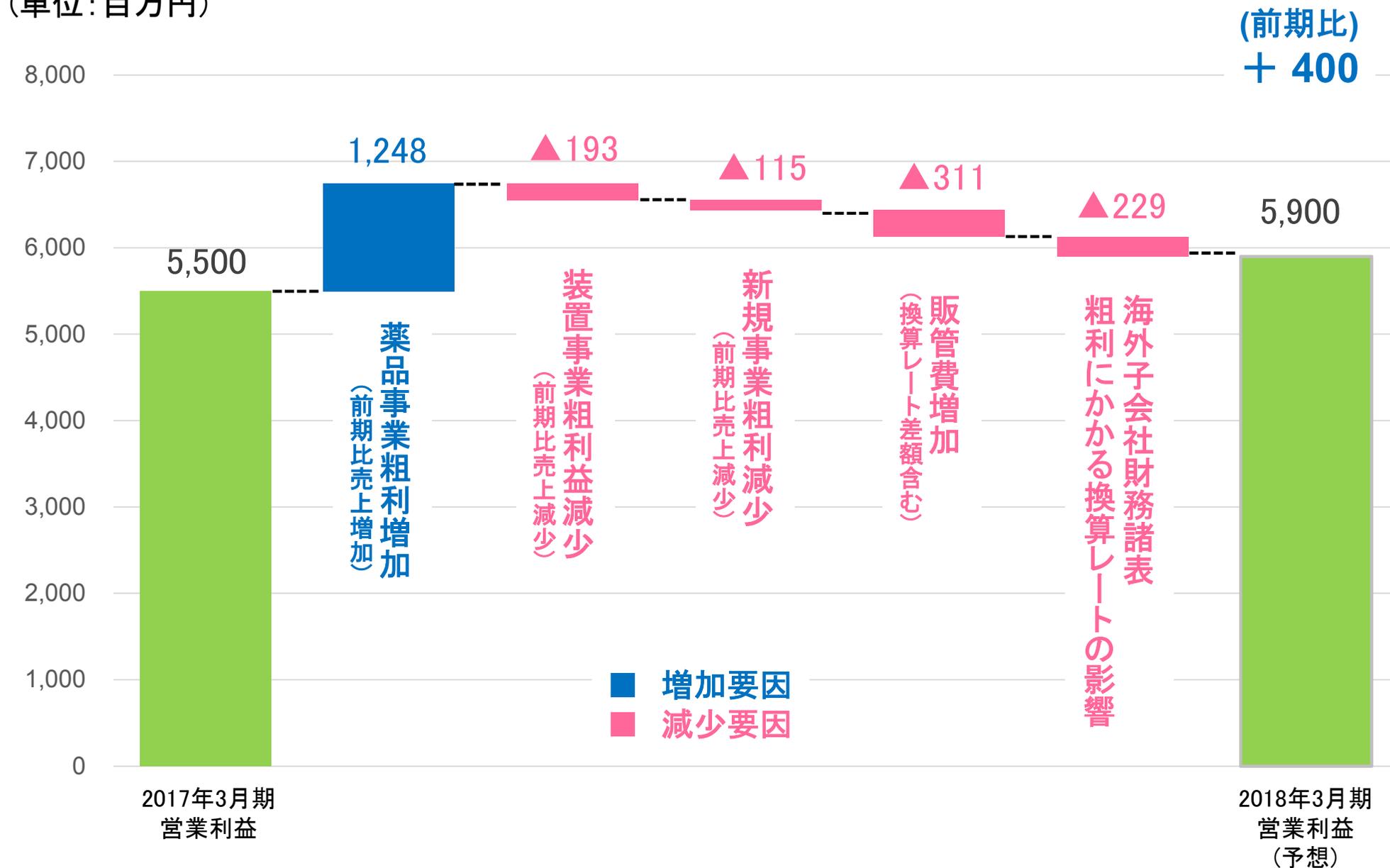
（単位：百万円）



※2017年3月期より、組織変更に伴い「新規事業」に含まれていた貴金属めっき薬品及びコーティング材について「薬品事業」へ含めて表示しております。

2018年3月期 連結営業利益 増減内容(予想)

(単位:百万円)



FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト

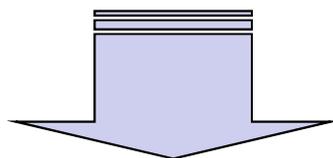
【進捗報告】

FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト【進捗報告】

前回報告(まとめ)

フレキシブル基板(FPC)・・・薄く柔軟性があり、折り曲げられる基板。

- ◆ 近年、スマートフォン等のモバイル機器に使用され、FPCの需要が増加。
- ◆ FPCの市場拡大にあわせて、新しい製造工法(プロセス名: ^{エルフシード}ELFSEED)を提案。
- ◆ FPCメーカーが素材に直接めっきを行うため、商流の変化が起こる。(次頁、参照)
- ◆ スパッタによる工法と異なり、穴の開いた素材に対して1度に両面へめっきができるため、より微細な回路の形成が可能。(先孔工法^{さきあな})
- ◆ ロール to ロール式の装置と薬品のセット販売 → 生産性UPと大幅コストダウン



技術的、コスト的にも優位性あり！

FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト【進捗報告】

FPCの商流

〈ターゲット〉

- ◆ FPCメーカーのFCCL工程の内製化（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ FCCLメーカーへの新工法提案（コストダウン、軽薄短小化）
- ◆ パッケージ基板へFPC採用（軽薄短小化）

ポリイミド(Pi)
フィルムメーカー

フレキシブル銅張積層板
(FCCL)メーカー

FPCメーカー

最終製品メーカー

ポリイミドに銅箔(Cu)を張る。

FCCLを購入し、回路を形成してFPCを製造する。

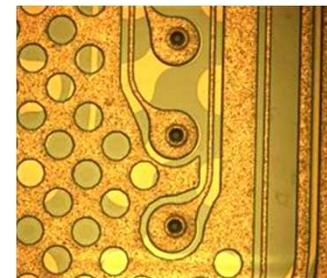
スマートフォンメーカー
TVメーカー、PCメーカー等



ポリイミド(PI)



FCCL(フレキシブル銅張積層板)



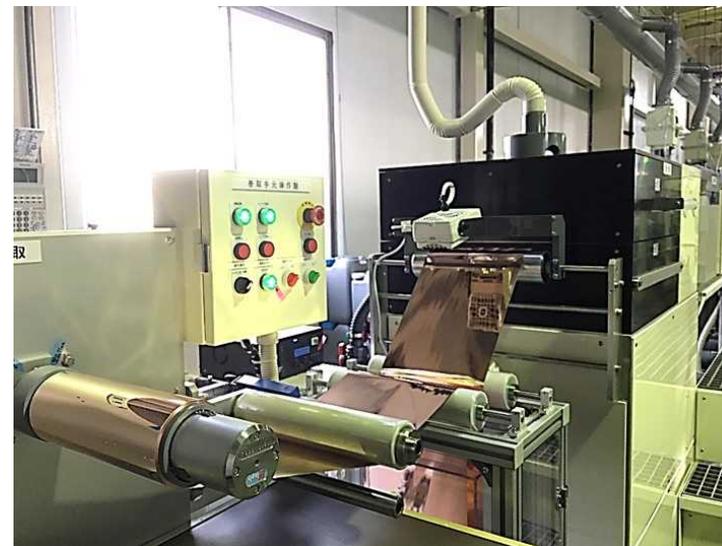
両面FPC



FPC(フレキシブル基板)戦略プロジェクト 【進捗報告】



①ロール to ロール式
無電解ニッケルめっき装置



②ロール to ロール式
電解銅めっき装置



③ロール to ロール式
プラズマ装置

現状報告

- ◆ ロール to ロール式無電解ニッケルめっき装置および電解銅めっき装置にて、量産装置としての完成度を高めるため、搬送等の更なる改善・改良を実施。
- ◆ 当社装置で作製したロールサンプルを希望顧客に配布。
- ◆ ターゲット顧客を絞り込み、当社と顧客の評価テストを実施中。

今期の目標

- ◆ 高精細FPCの低コスト化技術提案の継続。(薬品と装置を融合した当社強み)
- ◆ エルフシード ELFSEEDプロセス採用に向けて、ロール to ロール式装置一式(前頁参照)の1セット受注獲得が目標。

- 
- 2017年3月期決算概況
2018年3月期業績予想
 - 決算・業績予想トピックス
 - **参考資料（会社概要）**

会社概要

創業 : 1957年 12月

設立 : 1968年 4月 1日

資本金 : 11億7,625万円

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二
代表取締役社長兼COO 君塚 亮一

従業員数 : 単体 269名 連結 544名 (2017年3月末現在)

拠点 : 国内 6拠点 海外 11現地法人

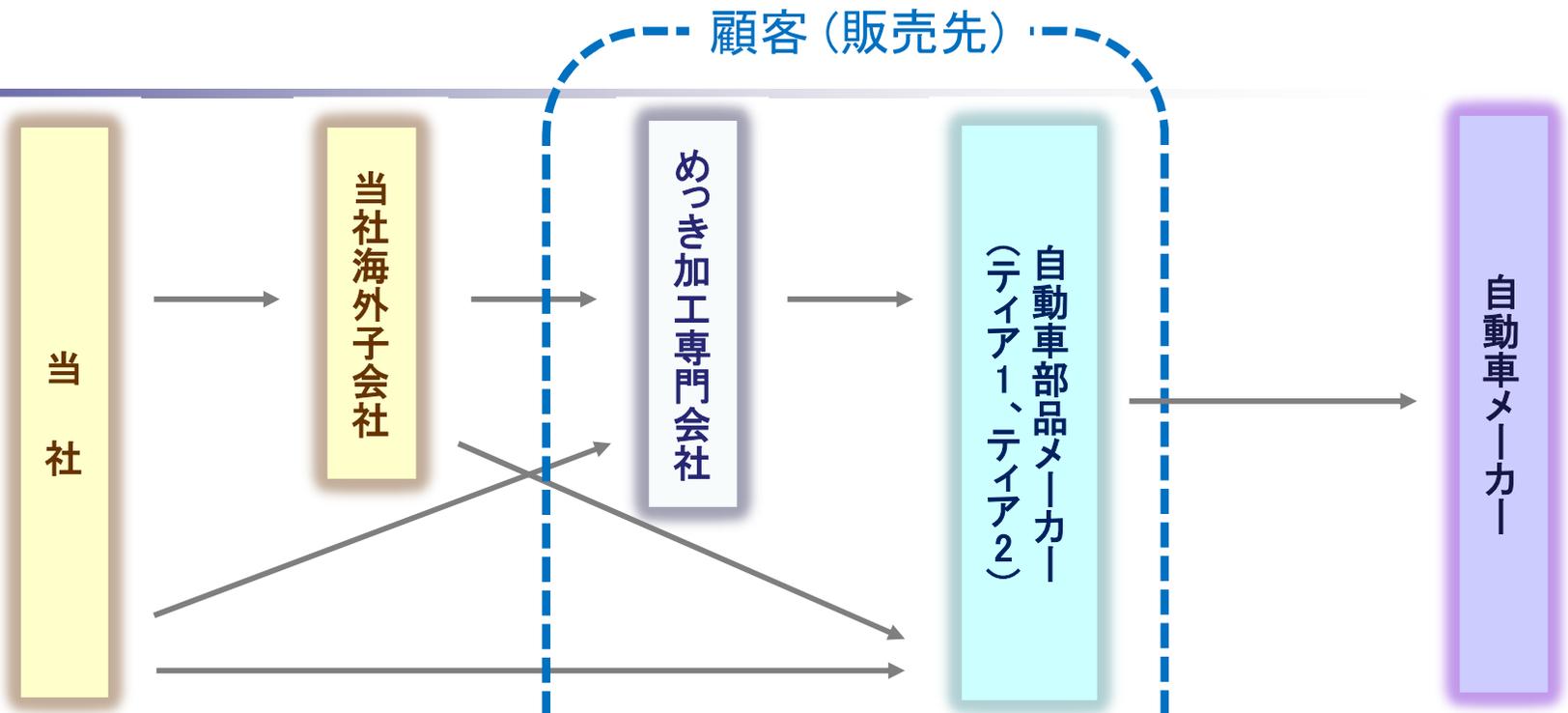
ISO認証取得

ISO9001 生産本部・薬品調達部・薬品事業本部・本社営業部・総合研究所 JCQA-0281

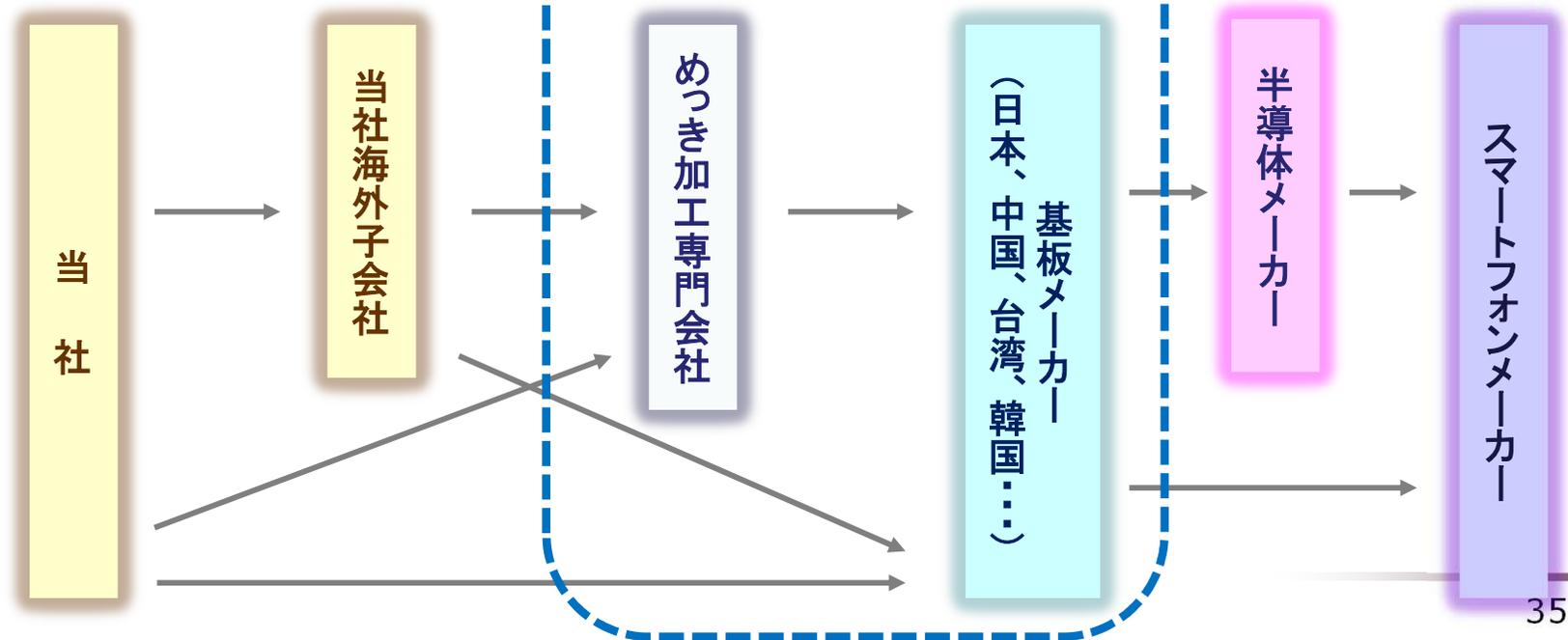
ISO14001 生産本部・総合研究所 JCQA-E-0143

主な商流

自動車



スマートフォン



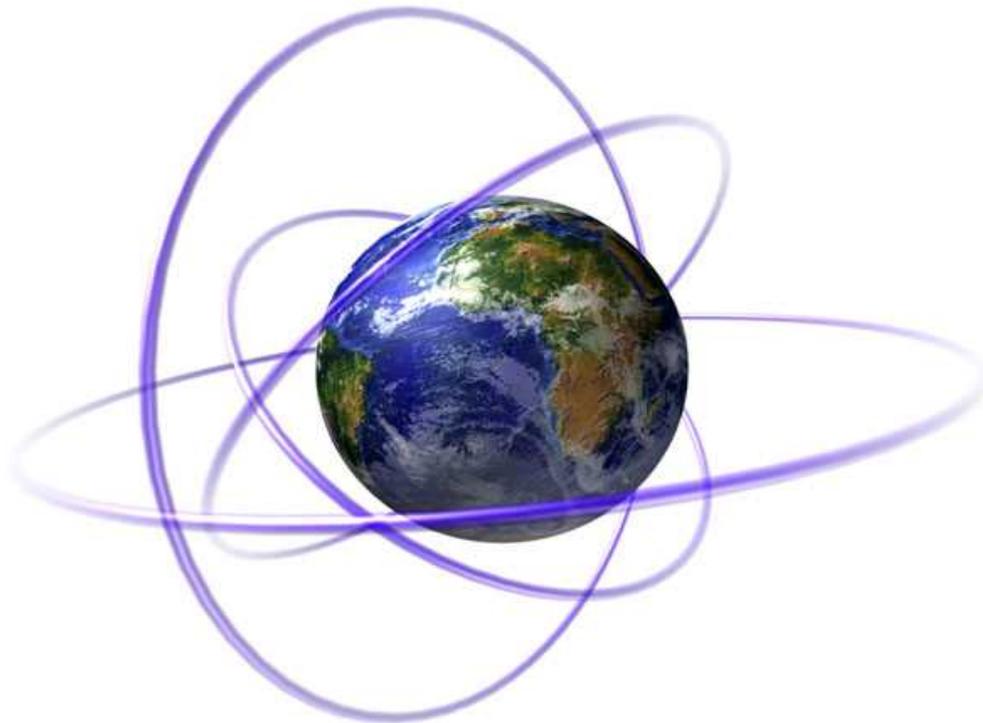
主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品(フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具(給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品(ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板(両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品(リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体(シリコンウエハー)

装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置

新規事業	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工
	天然水	当社ブランド「富士桜長命水」の販売

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ:

<http://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先

TEL: 03-6895-7004

FAX: 03-6895-7022